



## 有限会社ビオプラス西條デザイン

本社:〒022-8081 札幌市北区百合が原4丁目8-1  
Tel.011-774-8599 Fax.011-774-8581伊達支店:〒052-0014 伊達市舟岡町50-28  
Tel.0142-22-0138 Fax.0142-22-0139  
www.saijo-d.com

◎「ECOさんが帰る場所」連載中(P36~P37)

循環型の住まいを考えたとき、地域の木材を地域で加工し、地域職人の手でつくり上げるのは大切なことだ。木でできることは木を使い、その他の素材も地域で調達する。そして、自然派住宅に使われる素材の決め手は、最終的に土に返すことができるかどうか。リサイクルの際、焼却時に環境に負荷を与えない材料でなければいけないのだ。この家は、化学系接着剤を極限まで使用せず、一切の合板を使用しない無合板仕様を実現。ナチュラルな素材だけを厳選し、丹念に手づくりした自然住宅なのだ。

道産カラマツの厚板、踏み天井とした。ロフトには敷き畳の掘り炬燵「一ノ火」を設け、楽しい空間に仕立っている。ほかにも、北海道産珪藻土の土壁、ホタテ貝灰の漆喰、麻の壁紙、土佐和紙壁紙などの自然素材による内装仕上げ材を適材適所で使っている。

設備は、オールアースソーニセントと暖房給湯一体型の電気温水器によるセントラルヒーティングシステム。ロフトには巾木暖房配管を採用している。

循環型の住まいを考えたとき、地域の木材を地域で加工し、地域職人の手でつくり上げるのは大切なことだ。木でできることは木を使い、その他の素材も地域で調達する。そして、自然派住宅に使われる素材の決め手は、最終的に土に返すことができるかどうか。リサイクルの際、焼却時に環境に負荷を与えない材料でなければいけないのだ。

この家は、化学系接着剤を極限まで使用せず、一切の合板を使用しない無合板仕様を実現。ナチュラルな素材だけを厳選し、丹念に手づくりした自然住宅なのだ。

自然素材にこだわった「北海道の木の家」は、一人暮らしにぴったりのエコ自慢な平家仕立て。とき折り遊びに来るお孫さんたちのために、ロフトの2階空間を設けている。

ビオプラス西條デザインを選んだのは、地球環境と人の健康に負荷を与えない住まいづくりに賛同したからである。

この家の最大の特徴は、仕上げ材と家具・建具に道産タモのムク材を使用していることだ。オーナーは海外での生活が長く、その間買求めた西洋家具を新居で生かすことを希望。そこで、室内の木材仕上げには木目のきれいなタモをセレクトし、家具に合わせて植物油の塗料でチーク色に染め、統一感を演出した。

主な仕様を紹介すると、まず外壁板は道南杉の下見板張りとし、ドイツ製木タール塗料で仕上げている。断熱材は、地域の新聞古紙を回収してつくるセルロースファイバーによるもので、製造エネルギーの消費量(CO<sub>2</sub>放出量と比例)が数ある断熱材の中でも最少クラス。また、自然素材なので呼吸する壁を形成することが可能だ。さらに、廃木材のチップを再生利用した40ミリの断熱ボードを外張り負荷断熱材に使い、暖かさを強化。ちなみに、一般的なプラスチック系の発泡ボードでは、呼吸する壁はできないのだ。構造材には、薬剤無添加の道南産クリの土台、道東産トドマツの梁、柱、内部現しの梁と柱にはカラマツ材を使用した。床のフローリングや腰壁の羽目板は道産のムクのタモ材で、ドイツ製自然塗料で染色。2階の床は、1階の天井と兼用した30ミリの

**北海道の木でつくる  
無合板住宅「タモの家」。**